



テレタイムα

USBメモリを用いてのデータ移行



本マニュアルは故障機により代替機にデータを移行するためのマニュアルです。

操作を間違えることにより大事なデータが欠如する恐れがありますので、

操作には十分お気を付けください。

操作は故障機でバックアップを取っていただいた後、代替機へリストアする手順となります。

## 故障機での操作手順

- ① テレタイムα(故障機)の時計画面の「メニュー」を選択します。



- ② 「メンテナンス」を選択します。

このとき中身が空の USB メモリーを用意し、本体の右側面へ挿入してください。



- ③ 画面上部のロックアイコンを選択します。



- ④ テンキーが表示されますので、  
本日の日付を入力し「確定」を選択します。  
(例)2022年11月24日  
⇒ 20221124



- ⑤ 「バックアップ」を選択します。



- ⑥ 「スタート」を選択します。



- ⑦ 「バックアップに成功しました。」の  
メッセージを確認後、USBメモリーを  
抜きます。

※正常にバックアップが完了すると  
USBメモリー内に、以下のファイル  
が生成されます。  
「ファイル名 : teletimea.bak」



- ⑧ テレタイムa(故障機)の電源を切ります。

手順⑦の「バックアップに成功しました。」の画面で「戻る」を選択します。



- ⑨ 画面右上の「←」を選択し、時計画面に戻ります。



- ⑩ 「メニュー」を選択します。



- ⑪ 画面右下の「POWER」を、画面表示が消えるまで長押ししてテレタイムa(故障機)の電源を切ります。(5秒程度)



バックアップは以上で終了です。

続いてバックアップデータを代替機に移行する作業が必要となります。

## 代替機での手順

- ① テレタイムα(代替機)の時計画面の「メニュー」を選択します。



- ② 「メンテナンス」を選択します。

このとき先ほどの手順でバックアップを取った USB メモリーを、本体の右側面へ挿入してください。



- ③ 画面上部のロックアイコンを選択します。



- ④ テンキーが表示されますので、本日の日付を入力し「確定」を選択します。  
(例)2022年11月24日  
⇒ 20221124



- ⑤ 「リストア」を選択します。



- ⑥ 「USB メモリ」を選択します。



- ⑦ しばらくすると「リストアに成功しました。しばらくすると再起動します。」のメッセージが表示し自動で再起動します。

※このとき電源は抜かないようにしてください。

- ⑧ 再起動後、時計画面へ移行したら USB メモリーを抜いてください。

以上で代替機のデータが故障機と同じになります。

故障機が接続されていた通信環境へ代替機を接続し、クロナスより通信テストをしてください。

#### ※USB メモリーが認識しなかった場合

USB メモリーが認識しなかった場合は一度時計画面まで戻っていただき、再度作業を実施していただきますようお願いいたします。

